

人相学では「不倫に注意!」とかで——夫婦円満のため? 選挙に勝つため!?

# 発見撮丸川珠代「左眼の泣きボクロ」が消えた理由

参院議員

参議院議員の丸川珠代氏(37)と言えば、人気番組「TVタックル」のMCを務めていた頃から、知的なクールビューティとして人気を博していた。そのチャームポイントを挙げれば、あの左眼の下にある「SEX」なボクロ、通称「泣きボクロ」だったのではないだろうか。

実はいつの間にか消えていたのである。左は、11月11日に永田町で本誌が撮影した丸川氏だ。以前に比べ、何か顔がスツキリしているなあ、と思っているとよく見れば、あの魅力的な泣きボクロが「消滅」しているではないか。

うかつにも、そのことをまったく認識していなかった本誌は、いったいいつ丸川氏の顔からボクロが消えたのかチェ

ックしてみた。左ページの写真は、昨年の参院選前、選挙運動を展開している頃の丸川氏だ。この時には、見慣れたあのボクロがはっきりと左眼下にある。その後、今年初めに国会周辺で撮影した写真にも、ボクロは確かにあった。

しかし……。今年6月、丸川氏は自民党同僚議員の大家好氏と結婚した。幸氏の日は国会の会期中、加えて秋葉原で無



▲11月11日に撮影した丸川氏。左眼の下にあったトレードマークがなくなっている

政治家にとって、「顔」というのは非常に重要である。一般有権者と違い、政治家は、いかに自分の顔を覚えてもらうかが大事。名前と同時に「顔」を覚えてもらい、選挙で少しでも多くの票を集め、当選を果たしてこそ、購れて国政などの場で活躍することができるのである。

丸川氏の場合、以前からボクロがトレードマークとして知られていた。つまり、アレこそ政治家・丸川珠代氏の「顔」だった部分もあるのだ。そんな大事なボクロを、なぜ「消して」しまったのだろうか。

実は「一般論」として、丸川氏の左眼下にあったボクロは、「人相学」上、「不幸」の象徴だったという。人相学に詳しい人相研究家の竹村亞希子氏は語る。

「丸川さんのボクロがあった位置は、人相学的には『臥蚕』という場所で、本来は『子孫』を司る場所です。ここにボクロがあるというのはあまり良いことではありません。基本的には、『子宝に恵まれない』という運勢を意味しています。加えて丸川さんの場合、そのボクロは表面が盛り上がりつつおらず、輪郭もぼやけた、いわゆる『死にボクロ』のようでした。」